



# News Letter

国際農業機械化研究会

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-12-3 新農林社内 電話 03-3291-5718・3674

INTERNATIONAL FARM MECHANIZATION RESEARCH SERVICE

c/o SHINNORIN-SHA, 1-12-3 KANDA NISHIKI-CHO, CHIYODA-KU, TOKYO, ZIP101-0054 JAPAN., TEL. 03-3291-5718・3674

News Letter 通巻 465号

2013. 8. 19  
毎月1回発行

発行責任者  
岸田 義典

## 目次

# 2013

- モザンビーク共和国の稲作 ..... 2  
JICA 短期専門家 飯塚頼雄氏
- 国別輸出入 (2013年5/6月) ..... 10
- WORLD NEWS ..... 20
- EVENTS CALENDER ..... 21

# 7 / 8月号

# モザンビーク共和国の稲作

JICA 短期専門家 農機具／農業機械化  
飯塚 頼雄 氏

国際農業機械化研究会は、(株)新農林社と共催で、第 465 回海外農機事情報告会を平成 25 年 7 月 29 日 (月) に開催した。講師は、JICA 短期専門家の飯塚頼雄氏。飯塚氏は、これまで計 6 回モザンビークで JICA の農業関連プロジェクトに参加。その経験をもとに、「モザンビーク共和国の稲作ー JICA ショクエ灌漑地区稲作生産性向上プロジェクトにおける稲作作業体系ー」と題して、映像と共に報告した。

要旨は以下の通りである。

私は昭和 43 年に全購連、平塚にある農業技術センターに入りまして、全農の農業機械関係で 37 ～ 38 年、農機メーカーや農水省の方に大変お世話になって、平成 16 年に全農を定年退職しました。その間、モロッコの農業機械化研修センタープロジェクト、コートジボワールの灌漑稲作訓練、シエラレオネで収穫処理の農業機械の普及調査、モザンビークで精米機の据え付け訓練等に 2 回参加しました。その後、ショクエ灌漑地区稲作生産性向上プロジェクト (第二フェーズ) に短期専門家として参加、モザンビークに一ヶ月ないし一ヶ月半で計 4 回行き、いろいろな圃場の整備や機械化体系に関わってきました。

今日は、モザンビークで経験してきた稲作の圃場整理、播種、灌水までの話をさせていただきたいと思います。

## モザンビークの概要

モザンビークはアフリカ大陸の海岸線に位置する細長い国で、対岸にはマダガスカルがあります。国土面積は 80 万 Km<sup>2</sup>、日本の面積の約 2 倍です。首都はマプト。日本でいうとちょうど鹿児島市あたりに首都がある感覚です。首都から 200Km ぐらいで南アフリカの国境で、スワジランドまでバスで 4 ～ 5 時間で行ける非常に便利といえば便利なところ。人口は 2,300 万人程度で人口密度も非常に低いです。言語は、長年ポルトガルの占領下にあったためポルトガル語が公用語です。ポルトガルの植民地から 1975 年 6 月 25 日に独立。1995 年にはイギリス連邦に加盟しました。GDP は 186 億ドルと貧しい方に入ります。通貨単位は MT (メティカ

ル) で、日本円に換算すると 1 MT が 3 円弱くらいです。物価は結構安いのですが、最近はパンの値上がりなどで暴動が起きるなど、物価高になってきたと聞いています。沖合に天然ガスが発見され、豊富な鉱物資源に中国や韓国企業が資源を狙い進出、中国村もできています。資源外交をする国がどんどん増えてきています。今年 6 月に横浜で開催された第 5 回アフリカ開発会議では、日本と投資協定を結びました。

宗教はカトリック教が主流です。我々と接する人は非常に真面目な感じ。イスラム教の方もいますが、私が聞いている範囲ではイスラム系の暴動などはなく、非常に住みやすい国でした。

モザンビークには、主なる河川が 5 つあります。その一つ、リンポポ川はモザンビークの南部を南北に流れています。川の途中にダムがあり、このダムの機能が非常に悪い。だいたい 1 月頃ですが、大雨が降ると下流域 (ショクエ地区) は堤防が壊れて大

図 1 モザンビーク

